

ちぬ

浪商幼稚園 70周年記念対談

野田 賢治 × 佐々木 悟

浪商学園 理事長

浪商幼稚園 園長



70th Anniversary

OUHS Namisho Kindergarten



新年のごあいさつ



2019年、3年間続くスポーツイヤーの初年度がスタートしました。

今年は、ラグビーワールドカップが開催されます。ラグビーに関する様々な話題がマスコミ等で取り上げられる事でしょう。ワールドクラスのレベルの高いゲームを、多くの子どもたちが目にし、ラグビーを始めてくれれば、それに勝る喜びはありません。いずれにしても、日本ラグビーがレベルアップする事は間違いないと思います。

改めて申すまでもなく、浪商学園は2021年に100周年を迎えます。残り3年、この世の中の流れに乗って、どのように学園100周年を世の中にアピールできるか、大いに知恵の絞りどころだと思えます。

大阪体育大学は、前回の東京オリンピックの開催に尽力された方々が中心となって、今までにない新しい体育大学として開学しました。2回目の東京オリンピックが開催されるのを契機として、2024年の更に先の次の50年に向けた大学改革を考える必要があるのではないかと思います。少子化に歯止めがかかるところか進む一方で、10年後20年後の高等教育のあり方がさかんに議論されています。大学は将来にわたってどんな人材を養成するのか、腰を据えて皆で考える時期に来ています。

昨年11月には幼稚園の70周年式典が行われました。招待客にお茶がふるまわれ、教職員総出のまさに手作りの幼稚園らしい式典でした。幼稚園は、少子化の最前線で国の幼児教育改革に翻弄されています。こども園に進むのか、幼稚園としてとどまるのか難しい選択を迫られました。結論は、最も困難な教育型幼稚園として進む道を選びました。70年間積み重ねてきた良き伝統を継承しつつ新しい取り組みにも果敢に挑戦していく覚悟です。

2019年が教職員の皆様にとって公私とも充実した1年になることを祈念して、あいさつとします。



100周年記念事業について

記念事業の一環として、設置校で下記のプロジェクトが計画・進行中です

1. 記念募金

記念事業の柱でもある【浪商学園創立100周年記念募金】を開設します。
詳細については、後日100周年記念サイトに掲載しますので、ご確認ください。

2. 記念式典

学園創立100周年記念式典開催日、場所が決定しました。式典委員会で準備を進めます。

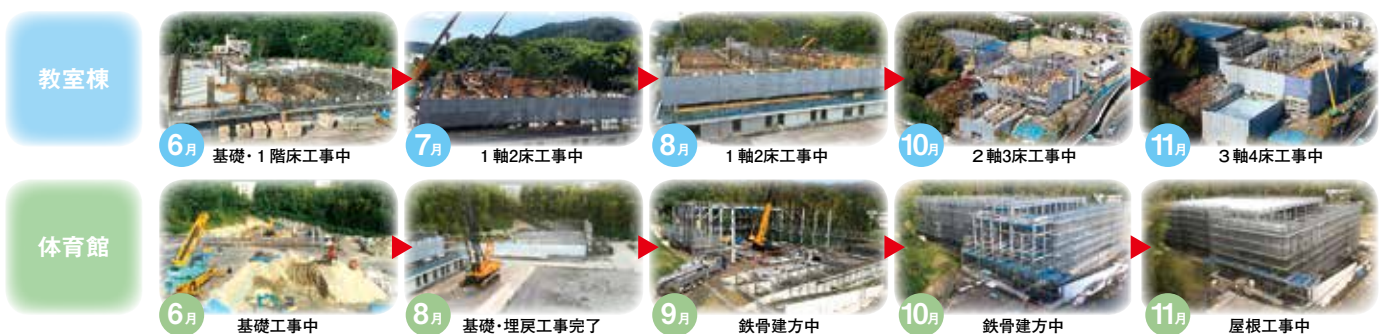
開催日：2021年11月13日（土） 場所：ホテルニューオータニ大阪

3. 記念誌

委員会でコンセプト、仕様、形態などを検討し、コンペに向けて順次準備を進めています。完成は2021年11月を予定しています。今後、データ収集や原稿作成など、各設置校にご依頼する機会が多くなりますが、ご協力よろしくお願ひします。

4. 大阪青凌中学校・高等学校 島本町新校舎進捗状況

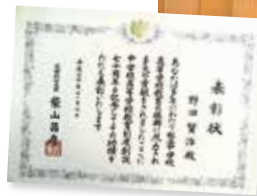
工事は予定通り進んでいます（累計35%）。また体育館も鉄骨が組み上がり、全景が分かるようになりました。



野田賢治理事長 文部科学大臣表彰を受賞

2018年11月6日(火)日本私立中学高等学校連合会創立70周年記念式典において、私立中学校・高等学校の教育に長く従事しその功労が顕著な者、及び私立学校教育の振興に特に功績があったとして、野田賢治理事長が文部科学大臣表彰を受賞しました。

式典では、柴山文部科学大臣からお祝いのお言葉のあと、受賞者代表の方へ賞状が授与されました。今回の受賞は学園としても非常に名誉なことです。表彰本当におめでとうございます。



[設置校トピックス]



大阪体育大学 (大学院・体育学部・教育学部) URL <https://www.ouhs.jp/>

- ・教育学部3年生が熊取療育園で人命救助に協力し、感謝状を授与
- ・ハンドボール部：「高松宮記念杯男子第61回・女子第54回平成30年度全日本学生ハンドボール選手権大会」大体大初アベック優勝!
- ・教育学部：初年度生が教員採用試験にチャレンジ。一次合格者73名、最終合格者44名
- ・大学院：外部講師による授業「スポーツ科学セミナー」を実施(全15回)



大阪体育大学浪商中学校・高等学校 URL <http://www.ouhs-school.jp/>

- ・浪商祭(体育の部) 初めて外部施設(丸善インテックアリーナ大阪)で実施 → [中学・高校行事ブログ](#)
- ・第47回全国中学校ハンドボール大会 準優勝。3年生2名が優秀選手に選出 → [中学クラブブログ](#)
- ・第34回世界バトントワリングチャンピオンシップ大会で1年生山田弦輝さんがジュニアの部で日本代表として出場。第3位に輝く! → [高校クラブブログ](#)
- ・平成30年度 全国納税貯蓄組合連合会・国税庁主催「中学生の税についての作文」で1年生杉本瑞季さんが、近畿納税貯蓄組合総合連合会会長賞を受賞。タイトル「私が税金を使えるなら」 → [中学行事ブログ](#)



大阪青凌中学校・高等学校 URL <https://www.osakaseiryu.jp/>

- ・9/7、8に青凌祭。舞台発表や催し物で大盛況! → [学年ブログ](#)
- ・9/13体育祭を初めて外部施設(丸善インテックアリーナ大阪)で開催 → [学年ブログ](#)
- ・大阪青凌秋の読書週間(10/22～11/10)を実施 → [図書館通信](#)

[卒業生のご紹介]

谷本 勲氏(浪商高校11期生)／世界最大の油彩画を飾る美術館「太陽の森 デイマシオ美術館」



縦9m、幅27mにおよぶ油彩画は世界最大と言われています。その絵画と運命的な出会いをし、北海道新冠町で美術館を運営・管理されているのが、浪商高校卒業生の谷本勲氏(11期生)です。谷本氏はパリ旅行中に作者であるデイマシオ氏の絵画に一目ぼれ。デイマシオ氏の人柄に触れるにつれ、作品の購入、展示を強く希望されました。そこから2人の交流が始まり、谷本氏の熱意に応えるべくデイマシオ氏がこの大作を制作したそうです。ただこれだけの大きな作品を展示する会場が見つからず、偶然にも北海道の地でオークションに出されていた廃校の小学校の存在を知り、購入。自治体もその要望に応え、体育館を全面改修し、2010年、「太陽の森 デイマシオ美術館」が設立されました。今後、100周年記念サイトでもご紹介させていただきます。

→ [太陽の森 デイマシオ美術館](https://dimaccio-museum.jp/) <https://dimaccio-museum.jp/>



右) 谷本氏

野田 賢治 × 佐々木 悟

浪商学園 理事長

浪商幼稚園 園長

～ 浪商幼稚園 70周年を迎えて～

70TH ANNIVERSARY
OUHS NAMISHO KINDERGARTEN

大阪体育大学浪商幼稚園は2018年11月、創立70周年を迎えました。地域に深く根差し、育ってきた歴史を振り返りながら、今後、どのように発展させていくのか。野田賢治理事長と佐々木悟園長、そして前園長の西尾一実常務理事に語っていただきました。(対談は2018年10月に収録。聞き手：石川朋広・法人本部総務部企画室長)

幼稚園創設時のお話をお聞かせください。

野田 大阪市東淀川区にあった浪華商業高校(後の浪商高校)の校舎の一部を利用して1949(昭和24)年11月に設立されました。前年に新制高校がスタートしたばかりで、「ぜひ幼稚園も」という地元のニーズに応えたようです。創設者の野田むつさんは事業資金の回し方が上手で、保護者へのお土産などにも気配りを忘れず、とにかく生きたお金の使い方をしていましたよ。



【創設者】野田 むつ

佐々木 重労働でお腹を空かしているだろうとタクシーで和菓子を買って回られるなど職員への温かい心遣いをされていました。運動会に参加されたみなさんにもかわいらしいお菓子を配っておられたそうです。

教育方針「心も身体もたくましく」については。

野田 大阪体育大学・浪商高校にも共通することですが、「スポーツを通しての心身の健全育成」は基本中の基本です。運動会も学園と一体となってやっています。

佐々木 規律をめぐってブッシュ米国大統領のときの国務長官だったパウエルさんが「Kids need structure」という言葉を使っていますが、しっかりとした土台のうえに人間性が形成されていきます。子どもには規律が必要で、健康な心と体をもとにたくまさを育てていきたいですね。

学園が茨木から熊取へ移転(1989年)したとき、幼稚園だけ残ったのはなぜでしょうか。

野田 幼稚園は地域との関わりが特に強い。また熊取地域には当時、幼稚園は1園しかなく、移転に伴う園児の取り合いという不必要な競争を避けたかったのです。

佐々木 当時の資料を見ると、移転の年には園児は140人も卒園しています。地域にとっても人気がありましたので、移転は全く考えなかったようですよ。

英語(イマージョン)教育導入(2013年)のいきさつは。

野田 小学校への英語教育の導入が時代の流れになっており、当時、最も先進的に実施していた鹿児島県の幼稚園まで見学に行きました。英語クラスの教育費は普通クラスの2倍なのに保護者に好評で、そこでは教職員を米国まで留学させていたのです。鹿児島で経営が成り立っているのなら、大阪・茨木でもやれると確信しました。

西尾 「認定こども園」への移行問題が議論されていましたが、時代の先を見ると幼稚園としての特色を出さなければならないと思いましたね。脳科学などの文献によると、言語の発達は8歳までがピークとされています。その時期に日本語と英語の2本の柱を立ち上げることがその後の語学習得に非常に有効といわれ、英語教育をやってみる価値があると決断しました。

野田 認定こども園にするのはそもそも無理で、特色のある教育幼稚園でいこうという方針を決めていました。たとえ私学助成がなくても、経営は可能。英語教育は絶対に当たる。長い目で見たら必ず受け入れられる、と信じていました。子どもが減っていくなかで、何もしないで止まっていれば、後ろに下がるのと同じです。現場は大変でしたが、いまでは私たちの独自のプログラムを学



子どもが減っていくなかで、何もしないで止まっていれば、後ろに下がるのと同じ

会で発表できるところまでできています。

佐々木 プレスクールからやろうということになり、教育プログラムを手づくりで取り組んでいる教職員の姿勢は保護者からも評価されました。幼稚園では英語のほかにも、小学校入学前にやらなければいけないことは山のようにあります。素晴らしい伝統があるだけに新しいことに挑戦するのは難しいことでした。

西尾 先生たちは大変だったと思います。英語教育の打ち合わせをしながら保育に手を抜くわけにもいきません。なんでもシナリオどおりにできるものではありません。しかし浪商幼稚園の教育にはこれは必要でした。保護者に支持されている限りは、大崩れることはありません。ここにはしっかりとした土台があり、安心していました。

——— これまで脈々と受け継がれてきた良き伝統について。

佐々木 良き伝統として1952(昭和27)年から始まったお茶会があります。茶道のお点前の動きには無駄がなく、その美しい所作は折り紙を作るときなど保育にも運動しています。教職員から子どもたちに広がり、いまでは3歳児でもお茶会の雰囲気を楽しみ、20分くらいは正座ができます。抹茶もおいしいと喜んでますよ。静かな環境の中でお抹茶やお菓子を頂く作法を学びながら挨拶の大切さやお互いを思いやる心を学び、日本人の心をさりげなく伝えていきます。



四季の美しい自然に触れる園外保育も週1回行っています。園のすぐそばを安威川が流れ、草花や野鳥などを観察しながら河川敷公園を元気に歩き、お昼にはみんなで輪になってお弁当を食べています。園バスを利用して摂津峡や万博公園などにも出かけ、観察力や忍耐力などを育てています。さらに幼稚園では珍しい室内温水プールがあり、しかも園児専用です。泳ぐことは体力づくりに極めて高い効果があり、水質管理もきちんとやっていますよ。

野田 幼稚園にきたトップスポーツクラブのインストラクターは「この子どもたちは体格がいい」と言っています。園外保育などを通してしっかりと体ができていることに驚いているようですね。

——— 保護者からの評判はいかがですか。

佐々木 今年は年少定員120人に対して124人入園しました。子どもが減っている中で、入園者数は好調に推移しています。英語(イマージョン)教育クラスも人気ですし、今年度に関しては願書購入者の約8割が出願しています。

西尾 教職員はいろんな教育にも妥協をせず、熱心に取り組んでいます。園児たちの発表の場もあり、お母さんたちも生活環境や教育の成果をきちんと見ることができ、外部からの電話の対応がいいとの評判も聞いています。このまま引き続き努力していくことが大切ですね。

佐々木 「電話の向こうに保育の形が見える」と言われますし、来訪者から「掃除がいきとどいていますね」とほめられたこともありますよ。子どもたちの楽しい笑顔にあふれ、安全で快適で楽しい場所になっています。

——— 70周年の取り組みと今後について。

佐々木 60周年記念式典は外部の施設で開催しましたが、今回は幼稚園が式典会場です。元教職員の方々にも来園していただき、懐かしい思い出にひたっていただきたいですね。当日は、幼稚園まつりの作品も展示します。記念誌も2019年3月ごろに刊行される予定です。60周年からの10年間の変動を記録し、現在の姿を盛り込むつもりです。

野田 それは学園の100周年記念事業の一つとさせていただきたい。



佐々木 将来構想に向けてもう一度、教育目標・方針を見直す時期にもきています。私たちの未来を信じ、いまの姿をPDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)によって継続的に改善していくつもりです。

野田 幼稚園の将来を考えると、東海道軸にあるという立地を活かしていけば少子化の流れの中でも確固たる発展が期待できます。チャンスがあれば、青凌中・高校に接続する小学校を設けるという楽しみもあります。現状では、幼稚園のイマージョン教育を青凌中・高校にどのように活かしていけるか考えたいですね。

佐々木 運動会での大阪体育大学トップスポーツクラブによるパフォーマンスはすごいし、大学の先生たちにもいろいろと講演していただきたい。学園全体の総合的な力を活かしていきたいですね。

野田 教育学部の学生たちにイマージョン教育を導入しても良いのではないのでしょうか。この地は学園全体が発展期を迎えた場所です。これからも時代の流れにプラスアルファしたものをきっちりやっていくことが大切です。伝統と本物志向、お茶会プラス英語教育、いま大変人気のある幼稚園に学び、学園の教職員が一丸となって新しいことに挑んでいく。そのことを継続していくことで未来が開かれていきます。



Kids need structure
子どもには健全な規律が必要なのです

【特集】70TH ANNIVERSARY OHS NAMISHO KINDERGARTEN

INTERVIEW 伝統ある保育と革新的な保育。両方を兼ね備えた浪商保育の魅力を語っていただきました。

標準クラス インタビュー／田中教頭先生

——— 浪商幼稚園の保育の特徴、最大の魅力は何ですか。

幼稚園の名前に「体育大学」と付くので、「体育ばかりをやっている幼稚園ですか?」という質問をたくさんいただきます(笑)「体育あそび」「スイミング」「園外保育」といった運動・体力面の充実だけでなく、絵画や製作、折り紙などで手先の器用さも身に付きます。お茶会



では礼儀作法を学び、毎日の生活の中では服を綺麗にたたむなどの基本的な生活習慣も3年間の間にしっかりと身につけています。静と動を併せ持つ、充実した保育になっているのではないかと感じています。

——— これぞ「浪商幼稚園名物!」を教えてください。

幅広い年齢層の教職員です。若い世代は21歳から、上は♡歳まで!! オールマイティーで、各クラスで毎日保育をしてくれる先生方をはじめ、色々なクラスに入っているフリーの先生。バスの運転や、園務・給食だけにとどまらず、子どもたちと一緒に遊んでくださったり、たくさんのお手紙の印刷や封筒詰め、園庭の花壇の世話や水やりはもちろん、「どうしようかな〜?」と立ち止まっていると、何本も救いの手を差し伸べてくださる縁の下の力持ちがたくさんいてくださるので、とても心強いです。

——— 2018年度から年中、年長クラスで「英語遊び」が試験的に始まりました。反応はどうでしょうか。

浪商幼稚園で、「イマージョン教育」が始まって、7年目を迎えています。浪商幼稚園独自のイマージョン教育を展開する中で、iクラス(イマージョンクラス)のプログラムは進化しながら確立されつつあります。そこで、「iクラスだけではなく、標準クラスにも英語の環境を取り入れられないか?」という園長先生のご発案のもと、昨年度標準クラスの「英語あそび」への取り組みが試験的に始まりました。先生方の毎月の「ふりかえり」を参考に現状の保育に無理のない時間と回

数を協議し、今年度より月に1回20分の「英語あそび」が始まりました。毎回子どもたちは、笑顔いっぱい楽しそうに取り組んでいます♪

——— 少子化の厳しい中でも、募集定員を増員し、今年の園児募集では抽選になる人気でした。地域から指示され続けている要因は何でしょうか。

ここ数年、見学会や説明会、面接時に保護者にアンケートをお願いしているのですが、スイミング・体育遊びに興味がある、園・教職員の雰囲気が良いという回答が多く、特色ある保育や園風に多数ご賛同いただいています。幼稚園の特色として、何かに秀でているということも良いとは思いますが、浪商幼稚園が教育目標にかかげる、「知・徳・体」すべてにおいて、バランスのとれた保育が支持されているからではないでしょうか。

幼稚園教育要領にあります健康・人間関係・環境・言葉・表現の五領域をもとに構成された、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」へとつながっていくものだと確信しています。



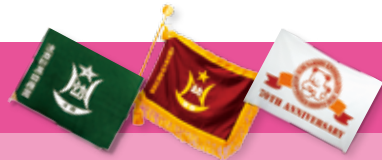
——— 今後の目標、また、学園100周年によせる期待など教えてください。

70年の伝統を大切に、時には初心に帰り、時代のニーズに応えられるようアンテナを張り、教職員一丸となって教育内容を精査し、これからも茨木(なんと! 2018年は茨木市も市制施行70周年)の地で末永く愛され続ける浪商幼稚園であり続けられるよう、まい進していきたいと思っています。

学園100周年に向け、数々のプロジェクトが進んでいると伺っています。幼稚園は茨木にあり、なかなか肌で感じる事が出来ませんが、熱気あふれる現場にお伺い出来る事を楽しみにしています。

REPORT

創立70周年記念式典・祝賀会



佐々木 悟園長

2018年11月24日(土)、大阪体育大学浪商幼稚園で、新旧育友会役員(過去10年間)、退職教員、企業関係者、学園関係者合わせて約100名が集い、創立70周年記念式典・祝賀会を開催しました。

幼稚園まつりの翌日ということで、式典前には子どもたちの作品鑑賞、70年の伝統あるお茶席を設け、来賓の皆さまにお楽しみいただきました。菊池武之理事からお借りした初代園長野田むつ先生が手作りされた茶器や掛け軸も飾られ、感慨深く手に取られている参加者のお姿が印象的でした。

祝賀会では野田賢治理事長が「70年前、大阪市の淡路で浪商高校の空き教室を利用してこの幼稚園が誕生しました。茨木市に移転後も多くの皆さまのご協力とご支援があり、今日を迎えることができました」と感謝を述べました。佐々木悟園長からは「学園100周年に向け、また、幼稚園の100周年に向け、『BELIEVE IN OUR FUTURE』を新たな教育目標としてかけ、教職員一丸となって進んで参ります」とあいさつがありました。

「幼稚園らしさ」をコンセプトとした心温まる演出が随所にちりばめられた式典・祝賀会に、参加者は心から楽しみ、また懐かしんでいらしゃいました。

イマージョンクラス インタビュー／林野先生

——— 7年目を迎えますが、導入の経緯や立ち上げでご苦労されたことなどを教えてください。

伝統ある浪商幼稚園で受け継がれてきた保育に「英語」を付け足すのではなく、そこに入り込んでいくイメージでした。「日本語と英語」「保育とレッスン」が融合した新しい保育環境を作り上げていきたいという思いでイマージョンプログラムを立ち上げました。

そこでかけざる英語教育の目標設定に最も苦労しました。「レッスン＝学び」という英語学習に対する一般的な固定概念を払拭し、子どもたちの日々の生活にとって意味のある「生きた文脈と豊富な言語」に触れるイングリッシュシャワーを存分に浴びせることが、自然なアウトプットに繋がるという理念のもと、「日常保育・園行事・英語」が一体化した独自のカリキュラムを確立するまでの道のりは試行錯誤の連続でした。

また、英語力を引き伸ばす縦型カリキュラムを期待する保護者から「浪商メソッド」に共感、理解を得るまでも大変な苦労がありました。

——— 今年度の運営体制を教えてください。

プレスクール(未就園児対象)から年長クラスまで4学年。さらに、卒園児を対象としたアフタースクールが小学3年生まで展開しています。イマージョンチームも成長し、現在は国際色豊かなネイティブ教員4名とバイリンガル教員を含むイマージョンスタッフ5名、更に幼稚園クラス担任が協力し、日々プログラムの運営と向上に努めています。



——— 他園との教育内容の違い、保育の特徴や魅力など大切にしていることは何ですか。

浪商イマージョンは、ネイティブ教員が英語だけを教えに来るピジターではなく、担任として日本人教員とチームティーチングでクラス運営に参加します。そして、四季折々の行事を共に経験することで、子どもたちとの間に大きな信頼関係が生まれます。

「給食おいしかったね。上手に絵が描けたよ。一緒に遊ぼう」子どもたちは大好きな先生に伝えたいことがたくさんあります。「話したい内容、話したい相手、そして話す場所」があれば、たとえ小さな子

どもたちであってもコミュニケーション欲求が生まれます。それらをレッスンという囲いに留まらず、幼稚園生活全体の中で提供している「イマージョン環境」こそが私たちのプログラムの最大の魅力です。

また、各年齢の成長に応じたネイティブ教員から子どもたちへの言葉かけをとっても大切にしています。それは、簡単でとてもシンプル、けれどコミュニケーションツールとしての生きた英語です。伝えたい事を相手に伝える成功体験こそが豊かな表現・思考力を育み、グローバルキッズへの成長に繋がると信じています。



——— 毎年抽選で狭き門となっています。浪商イマージョン教育が指示され続けている要因は何でしょうか。

世界に目を向けると就学前教育の大切さの認識が日本は後進であると私は思います。幼児期に幼稚園で経験する生活や学びは、子どもたちの成長の基礎を養う重要なものです。そして、母語や母国の認識、自然や文化への興味関心が芽生えるのも幼児期です。

この大切な時期に英語学習を優先して母語を制限し、子どもたちとの関わりをネイティブ教員に委ねるインターナショナルスクールが疑問視され始めながらも、英語教育を導入した幼稚園が園生活とかけ離れた内容のレッスンを限られた時間行うだけでは求められる語学力の習得は困難なのが現実です。

そのような中で、浪商イマージョンでは、伝統ある浪商保育を通して幼児期に経験すべき生活や学びを大切に、そのコミュニケーションツールの1つとして英語を位置付けることで、母語と第二言語のバランスの良い発達を促す、独自のプログラムを実現しました。そこに通う子どもたちの笑顔と成長が、今日の「浪商イマージョンへの信頼」に繋がっているのではないかと思います。

——— 今後の目標、浪商幼稚園への期待など教えてください。

イマージョンクラスがある浪商幼稚園というメリットを最大限に活かし、今後は標準クラスの子どもたちも英語を身近に感じられる機会を多く取り入れたいです。そして、英語環境が整った浪商幼稚園という新しいイメージの定着から、他園との交流を深め、より良い英語教育メソッドを研鑽、そして学会活動にも積極的に参加しながら、これからの幼児英語教育の発展に貢献できる幼稚園をめざしていきたいと思います。

教員全員で「BELIEVE」を合唱



ドロシー・ロー・ノルト博士「子は親の鏡」を朗読する田中かおり教頭。前園長補佐の畑山先生が教頭の際、入園説明会の最後に新入園児の保護者に向けて朗読されていました。今もその伝統は続いています。



幼稚園まつりでの園児たちの作品展。テーマは「バースデーパーティー」





浪商学園報 **ちぬ** Vol. 54
CHINU

Osaka University of Health and Sport Sciences / OUHS Namisho Junior and Senior High School /
Osaka Seiryō Junior High School and Senior High School / OUHS Namisho Kindergarten



学校法人浪商学園 学園報 **ちぬ** No.054 平成 31 年 1 月 7 日発行

発行者：学校法人浪商学園 総務部企画室／発行責任者：石川朋広

〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1

TEL 072-479-3111 FAX 072-453-8972

学園ホームページ：https://www.namishogakuen.jp/

印刷・製本：株式会社毎日新聞大阪センター